

平成二十九年三月 (定例議会報告)
栄町見聞録
第167号



執筆発行 栄町議会議員
野田 泰博
栄町安食台1丁目8番7号
メール yasnodat8760@gmail.com
tel 0476-95-3665



平成29年3月定例議会報告 ・消防広域化協議が印西市長の都合だけで協議会解散・破局

印西、白井2市と栄町

消防広域化協議が破談

2017年3月16日千葉日報

印西地区消防組合を構成する印西、白井2市と、単独で消防本部を設ける栄町が進めていた消防広域化の協議が破談していたことが16日、分かった。印西市が最終的に拒否した形で、同市防災課は「財政的なメリットがないのが主な理由」としている。

協議は栄町の申し出を受けて昨年8月にスタート。2市1町の首長や議長、県職員らを委員とする協議会で話し合いを重ねた。しかし、

印西市の岡田正市町長は「13日の会議で突然表明で、大規模災害への対応を充実させるためにお願いがしたが、これまでの協議は何だったのか。金銭面以外にもさまざまなメリットがあったはず」と憤慨。当面は町単独での消防体制を再検討する。

白井市の伊沢史夫市長は「災害時の初期対応の強化につながる」と期待し、実現を望んでいたのに遺憾」と話す。県消防課は「県は広域化を推進する立場だったので残念」としている。

し、今月13日の5回目の会合で印西市が「広域化の意思も強化とはならない」として、協議を断念した。協議の算入に有利な起債が活用できるなど、広域化の利点として財政面が挙げられていたが、印西市担当者は「将来、市は不交付団体に

車両購入の際に普通交付税の算入に有利な起債が活用できるなど、広域化の利点として財政面が挙げられていたが、印西市担当者は「将来、市は不交付団体に

なる可能性があり、メリットになるかは限らない」と話す。消防力強化につながる点についても「多重災害の発生時、消防力が栄町に



栄町消防本部

財政メリットよりも命

栄町には利根川堤防上に平成6年常設の消防本部ができた。近年全国的に地域防災の充実が急務となり千葉県も広域防災を見据えて白井市、印西市、栄町の広域防災化を計っていた。5回の協議中印西市長も

白井市長も財政上のデメリットは確認して最終段階で財政上のメリットがないという理由で印西市長が協議会を破談にした。防災は命を助けるためであって、損得の問題ではない。(感想)印西市長は印西市が不交付団体(財政が豊か

- ① 平成29年度当初予算
栄町第4次総合計画(H27~H30)の後半戦の予算。人口減をいかに抑え込むか。それには積極的に人口増のための子育て支援、定住化促進、雇用の創出、駅前活性化の仕上げ
- ② 来年7月から住民票、印鑑証明が全国のコンビニで取得できるようになる。
- ③ 妊娠時期から小学校就学前まで子育て支援センターをふれあいプラザ内に設ける。
- ④ ふるさと納税額が楽天と提携してから4倍以上になった。H27 1400万円→H28 5800万円
- ⑤ 地方創生交付金が千葉県全市町村の中で上位から6番目に多い額となった。千葉全体約8億円のうち栄町は5600万円。コスプレ館充実、悠遊亭シャワー増設、空調設備充実する。
- ⑥ 矢口工業団地拡張、すでに日本食研が拡大化となる。すでに契約済み。

世の中・・・ファーストが流行

USAファースト、英国ファーストなどの言葉とともに世の中が保守色に色づいている。日本でも、昨年の障害者施設で大量殺人事件、今年の我孫子での小3女児殺害事件。全て自分の都合だけを優先させ、他者を傷つけている。

何とかファーストの標榜はファーストの裏側にいる人々を傷つける行為を伴う。共通する点は「自分は正しく他者は間違っている」という考え。自分と他者との違いを尊重しなければ、違いを結びつける糸は切れちゃう。

何とかファーストを標榜する前に他者への尊重が必要だ。

紆余曲折の移動販売事業について

前回の栄町見聞録166号で報告した買い物難民への移動販売対策は紆余曲折の末、町長部局が直接交渉し、目処をつけた。現在、協力してくれる業者が移動販売の実施に努力していると町から報告された。

昨年、岡本議員が業者名を公募前に自分の会報で公表、本当かどうかは判らぬが、個人的に業者から確約書までとったと会報には記載されていた。公募の前に業者名を一議員が公表したので、業者は応募を断念すると町に通報。公募の前に公表されることは町との癒着疑惑を疑わせることになる。業者との話し合いは中断した。担当責任者の副町長は岡本議員に抗議。担当職員は外された。

公募不調で、年度内に事業開始ができなければ国からの予算取り消しとなる。あとに引けない町は副町長が直接交渉を開始し、新年早々に、平成28年度内の事業としてようやく成立した。岡本議員の理解とは違い「順調」ではなかった。

日本ではどんな役場でも予算を組まねば動きが取れない。栄町のような弱小の自治体は国県の予算をフルに活用しなければならないので、予算化や事業の具現化はそれだけ慎重にならざるを得ない。議会は町長の執行が町民のためになるかどうか判断し、賛否を表明するのが仕事。岡本議員が会報で報じたことは議員の本分を超えたもの、町長の邪魔をした形になった。町長が持つような執行権は議員にはない。この件では議長が岡本議員に個人的に指導した。

協力してくれる業者には大変な迷惑をかけた。またこの新規事業に従事しようとしていた人々もいるが、半年遅れの事業開始に戸惑取った人もいる。

議員の一般質問を具現化するのには行政。町は予算案作成から実行に移すまでには、多くのプロセスを通過しなければならない。議員は個人的に業者の方式まで介入できない。議員が知っているからといって公表すべきではない。勇み足は一度は許せるが、二度目は勇み足とは言えない。「議員必携」読んで議員の役目を理解すべき。

印西地区環境整備組合事業(ゴミ処理)

5年前新印西市市長が誕生し、選挙公約通りゴミ処理施設建て替えを推進。昨年末の運営は印西、白井、栄が毎年移転先(印西市吉田地区)の周辺住民組織と決着。吉田地区は約34億円を地元対策費として環境整備組合から受け取る。(下表は過去の地元対策費比較)

(今後の問題点)

現在の印西クリーンセンターにある温水プールはクリンセンターのゴミ処理の時に排出熱利用施設。この施設の運営は印西、白井、栄が毎年経費を出している。クリンセンターの排出熱利用と位置付けられているからだ。これから作る吉田地区へのゴミ処理工場の迷惑料が約34億円と決定した。吉田地区の住民への迷惑料金。

候補の自治会と協定 新清掃工場建設へ合意

印西環境整備組合

印西クリーンセンター(印西市大塚)の老朽化に伴い新清掃工場の整備計画を進めてきた印西地区環境整備事業組合(印西市・白井市・栄町で構成)は22日、公募により選定された建設候補地の町内自治会「吉田区」(印西市吉田)と整備協定書を締結した。地元と最終合意に至った形で、組合は新年度から用地買収に着手する。

協定書では、同地区を建地域振興策を円滑に進める。建設替は同地区内で行う。協定書に決定する。稼働開始から約30年ごとに迎える工場



協定書を手にする板倉管理組合(左)と大塚区長(右)22日、印西市大塚

調印式には、3市町の首長と吉田区の役員が出席。吉田区の大塚喜章区長は人口減が進むなどの地域課題に「一住民が納得する整備をしてもらい、3市町と吉田区が共生できる事業が展開すれば幸い」と期待。組合管理組合の板倉正直印西市市長は「千葉ニュータウンの外に新清掃工場を造ることが市長選の一番の公約で、吉田区に快く受け入れられた。本日の調印に至った。うれしく感じている」と話す。

組合は新年度、用地買収に着手するほか、地域振興策検討委員会が昨年3月にまとめた答申書を参考に地域振興策の基本計画策定作業を進める。2028年度の稼働開始を目指す。

過去の環境事業の一部組合における周辺整備費比較(表は野田作成)

名称	印西地区衛生組合	印西クリーンセンター	最終処分場	平岡自然公園	次期中間処理施設
建設開始	(昭和51~平成4まで)	(昭和61年度~)	(平成11年度~)	(平成19年度~)	(平成40年度~)
事業地区	栄町須賀	印西市大塚	印西市大塚	印西市平岡	印西市吉田
事業内容	し尿処理	ゴミ・不燃ゴミ処理	焼却灰埋立	火葬場 畜場 墓地	現ゴミ処理の移設
本体整備費	15億円	106億円	59億円	78億円	109億円
周辺整備費	2千万円	32億円	15億円	33億円	34億円
総整備費	15億円	138億円	74億円	110億円	143億円
周辺整備費割合	1.30%	23%	21%	30%	24%

迷惑料は誘致地元住民が自由に使える。栄町にある一部組合のし尿処理の80%が印西市民のし

尿だ。しかし栄町への迷惑料は2千万(1%)。実にアンバランスだ。

三月定例議会一般質問

(質問) 栄町の施設・設備の公共施設維持として5カ年で5億7千万円の財源を確保する必要がある。人口減、高齢化の進む中で栄町はどうするのか?

(答弁) 上下水道、し尿処理などの更新計画は平成30年に策定する予定。特にし尿処理設備の劣化による機能低下対策は一部組合(栄町、印西市)の仕事で、現在、次期施設整備基本計画策定を開始している。

(私の心の声) 印西市と栄町の一部組合の改修なら、周辺整備費をクリーンセンターに並みに総整備費の25%程度にすべき。次の時は1%程度の迷惑料で誤魔化されるなよ。

道路、橋については4年前の平成25年度より国の経済活性化対策で舗装、修繕費が充実してきた。昨年、危険箇所を住民から指摘され、町は安食台小前の歩道、竜角寺台外周道路などを修繕した。道路側の倒壊しそうな家など修繕を促した。経年変化で危険となつている箇所は増えている。役場職員だけでは見落とす場合もある。住民が指摘すれば事故は未然に防げる。

何故うさぎが卵を持っているのか?



4月のヨーロッパのパン屋さんの窓辺には「うさぎが卵を抱いているケーキ」が飾られる。イースター(キリストが処刑されて3日後に復活したのを祝う祭り)はクリスマスと同じように盛大なお祭りである。でも兎は卵を産まない。私は何故兎が卵を抱いているのか

ドイツ人に聞いた。春になると最初に雪の中から出てくるのが兎。それがイエス・キリストの「復活」を意味している。卵は丸い殻を破って「ひよこ」になる。これが復活の象徴。また子孫繁栄の意味を持つと説明してくれた。

アメリカではケーキでなくてそれはチョコレートで作られ、バレンタインチョコのようにチョコ会社の商売繁盛となる。日本でもクリスマス、ハロウィン、バレンタインのようにお祭りだけが模倣され、商業主義と結びつくだろう。

「悪口を消すけしゴムはないんだよ」「見直そう 自分の気持ち 強くなれ」

安食台小学校生が2年連続いじめ防止「標語」コンテストで賞を取った。

先日の新聞は福島から避難した子供達へのいじめが1999件あったと報じていた。子供は本能的に生きていけるところが強く、自己を守る本能から他者へのいたわりを欠いた言葉を発する。私はいじめや差別は世界中どこにでもありと考えている。その究極が国家間の戦争なのだ。他者への思いやりを欠き、本能的に自己優先する生き方はいじめや差別に繋がる。

栄町に住み始めた時、同じ町内の方から、「あなたは新住民、私たちは新住民だが、少し古いので旧新住民だ」と告げられたことがあった。わずかに数カ月の差で新住民と旧新住民に区分けしたのにはびっくりした。

いじめや差別はこの世の中どこにでも、いつの世にもある。自分の気持ちを強くすることでいじめや差別から自分を守り、他者を尊重し、口から出る悪口は慎しむべきだろう。